



# 佐土原ロータリークラブ週報



2007-2008年度R I テーマ

## [ロータリー家族月間]

第1002回 平成19年12月2日(日)

### 本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. ロータリーソング  
「それでこそロータリー」
- 3. 会長の時間
- 4. 幹事報告
- 5. 出席報告
- 6. ハッピーBOX披露
- 7. 委員会報告
- 8. 菊池平パストガバナー挨拶
- 9. 特別卓話「永富稔氏」
- 10. 点 鐘

第1001回の記録

平成19年11月28日

### ★会長の時間

梶田 與之助君

皆様こんにちは、本日は1001回例会です。私の誕生日もあります。そして今日は沢山のお客様がお越し下さって大変嬉しく思います。ではご紹介致します。国際ロータリー会員組織ゾーンコーディネーター〈RIMZC〉永富稔氏、菊池平パストガバナー、西都RCより押川伸生さん、調所耕一さん、橋口博明さん、宮崎東RCより中川彰伸会長、平木泰英幹事、以上の皆様ようこそいらっしゃいました、ありがとうございます。

世界癌研究基金などがこのほど、世界の膨大な研究報告を精査してまとめた「がん予防の10か条」は、やはり体重調節と食事を重視している。体重は痩せすぎにならない範囲で、できるだけ抑える。そのため「毎日1時間の適度な運動か30分間の強めの運動をする」ことを勧める。同時に「甘い飲料を避けて、高カロリー食品を減らす。特に糖や脂肪が多く、食物繊

会長：梶田與之助 幹事：郡司 武俊  
 副会長：太田 忍 会報委員長：岩切 徳夫  
 会計：垂水 敏雄  
 事務局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18  
 TEL : 0985-62-7833 FAX : 0985-62-7877  
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子  
 例会日：毎週水曜日  
 例会場：ハイビスカス ゴルフクラブ  
 TEL : 0985-73-0109

12月12日(水)・・・年次総会「全員出席」  
 12月19日(水)・・・会員卓話「佐藤高元君」  
 例会の欠席は必ずご連絡下さい(前日午前中迄に)

維の少ない加工食品を控える」逆に推奨食品は「果物と野菜、全粒穀物、豆類」野菜と果物で少なくとも1日600グラム食べるよう勧める。日本人(成人)の摂取量は、野菜が266.7グラム、果実が119.6グラムの計386.3グラム(2004年)だから断然少ない。20代30代は300グラム前後だから危うい状態だ。

10ヶ条には「がん予防にサプリメント(栄養補助食品)を使わない」ともあり、昨今の軽薄な健康志向を戒める。もちろん喫煙はもってのほかだ。日本人の3人に1人は、何らかのがんで亡くなる。いま柿やミカン、リンゴなど特に健康的な果実が豊富だ。目標値くらいは食べよう。

### ★幹事報告 郡司武俊君

※例会変更なし

※西都ロータリークラブと高鍋ロータリークラブの12月度例会予定を掲示しますのでご覧下さい。

※12月2日日曜日、大光寺にて早朝例会です。5日(水)はお休みですのでお間違ひなく願います。  
 12月8日(土)3クラブ合同チャリティーボーリング大会参加の方委員会西都ボウルに15時30分集合です。

## ★委員会報告

●20周年記念式典実行委員長 藤堂孝一君  
11月27日に決まりました事を報告致します。  
(決定事項)

- ①実施日 平成20年5月17日(土)
- ②場所 フェニックスリゾート宮崎国際会議場2階
- ③時間 10:00～14:00 あらまし
- ④参加人数 15名程度西都・高鍋・佐土原で90名程度
- ⑤登録費 10,000円
- ⑥会場設営・看板・料理・概算 1,500,000円
- ⑦記念事業 AED寄附 300,000円
- ⑧記念植樹 宝塔山一本 10,000円 ×30本 300,000円
- ⑨記念品 佐土原人形 1,500円 150個 225,000円
- ⑩余興 巨田神楽 謝札 50,000円
- ⑪案内諸経費 150,000円
- ⑫予備費 475,000円
- ⑬合計 3,000,000円

## ● I M実行委員長

林 厚雄君  
11月28日(水)に予定しておりました打ち合わせ会の変更をお知らせします。  
日時 12月5日(水) 18:30～  
場所 蓮光寺 ※食事は準備します  
(会費1,000円)

## 「会員増強脱会防止について」

コーディネーターとして皆さんに何をお話ししたらよいのかと考えた末、私の40年間のロータリー生活の中で知り得たこと即ちロータリーの良さ、そして53年間の職を終え振り返った思いをお話した方が一番手っ取り早いと思い、それらを混じながら30分の時間をいただきます。

人間この世に生を受け、社会の中で生きていくにはお金が絶対に必要です。その大切なお金を得る手段が職業です。ロータリーはその職業を奉仕と位置づけ、四大奉仕部門の中で、第一義的に捉え、事業の拡大発展に努めるよう奨励しています。世にある多くの奉仕団体の中で、このような論理を持つ団体は恐らく無いでしょう。ロータリーの最大の特徴はここにあります。

1911年、アーサー・フレデリック・シェルドンは「He profits most who serves best. 奉仕は最大の報酬」という名言を発表しました。奉仕と報酬という一見相反する語句をみごとに連動させ、励めば励むほど自他共に幸せ且つ事業は向上するという素晴らしい発想の言葉です。私はこの名言を私なりに図解し、院内上げて励んでまいりました。

社長はじめ社員共々会社が一丸となって4項目に励めば、お客様は満足され、信用(信じて用いる)から長い取引の間に信頼(信じて頼る)までの人間関係ができ、事業は確実に成長発展して行きます。1929年、世界経済大恐慌の時、多くの企業は倒産しましたが、ロータリアンの店舗、会社は一件も倒産しなかったとロータリー一史に書かれています。

また、ロータリーは週一回の例会があります。良き友人の和やかな会合でロータリーソングを歌い、4つのテストを唱和します。邪心、誘惑を払いのけ、心の透析ができ、ロータリーの精神が蘇ります。ロータリーの良さはここにあります。例会の本意を知り真面目に出席すれば、テレビでの事件は無いはずです。退職をし、平穏の中から振り返ってみると、ロータリーの訓、毎週の例会、情報集会、セミナー等まさにロータリーと職業は渾然一体、そのお陰で今があると改めてロータリーへの感謝の念を強く持つ 것입니다。会員増強は単にクラブ人数を増やすのではなく、友人と共に幸せなライフスタイルを持つのだとの思いでお説明いただければと願っています。

## ★菊池平パストガバナー挨拶



## ★国際ロータリー会員組織 分かちあいの心 グーン・コーディネーター永富稔氏



## ～MEMO～

例会中は携帯電話の電源を切るか  
マナーモードにして下さい・・・

## 出席状況 第997回 平成19年10月31日(水)

会員数	29名(内免除2名)	欠席者数	2名
出席者数	27名	メールアップ	0名
出席率	93.0%	修正出席率	93.0%

言動はこれに照らしてから

## ■ 四つのテスト

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か

- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか